

いたいの飛んでゆけ

C G Dm7 G C / G

1. 昨日作った傷跡が 今も少しだけいたい
これまで多くの傷跡を しみしめて来たんだ
ぼくは人には言えない 秘密とずっと生きている
本当は誰かに言いたくて でも我慢して来たんだ

悲しくてぼくが泣いたとき 母さんが言いました
いたいのいたいの飛んでゆけ どこかへ飛んでゆけ
どこかへ飛んでゆけ

2. いつも誰かと比べては 自信がずっとなくて
小さな失敗しないよに ピリピリの毎日
ちゃんとしてなきゃいけないと 思えば思うほどに
うまく行かない毎日は 結構きついんだ

寂しくてわたし泣いたとき 父さんが言いました
こわいのこわいの飛んでゆけ どこかへ飛んでゆけ
どこかへ飛んでゆけ

3. こんな自分で良いんだと いつか思える日が来るの？
ささやかだけどこつこつと 生きてるつもりだよ
あなたに出会ったその日から モノクロ風景色づいて
まだまだ下を向きながら 負けず嫌いのぼく

つらくて僕が泣いたとき あなたが言いました
よわいのよわいの飛んでゆけ どこかへ飛んでゆけ
どこかへ飛んでゆけ